



フォルクスワーゲンを愛する人の ブイ・ダブリュウ トレッフェン



One Day VWs Museum

中央通り商店街 いちにちワーゲン博物館

2024年12月15日(日)は、
前橋に、かわいいワーゲンが大集合!!



2009年から恒例となっている
「いちにちワーゲン博物館」
前橋中央通り商店街に各地からワーゲンが集まります。
今回は、どんなワーゲンが集まるでしょうか。
懐かしい昔のワーゲンの姿をお楽しみ下さい。



■開催日時 2024年12月15日(日)
9:00～朝のグルグルキャラバン
10:00～14:00 展示
14:00～帰りのグルグルキャラバン
■会場 前橋中央イベント広場
前橋中央通り商店街アーケードの一部
■どなたでも無料でご覧いただけます。

■展示参加のVWも募集しています
ご自分のワーゲンと一緒に、イベントを
楽しみましょう。裏面もご覧ください。
詳細はホームページに掲載します。また
は下記事務局まで問い合わせください。

※予告なく中止、変更となる場合があります。



(写真是2023年12月17日のものです)

KdF VOLKSWAGEN owners club OF JAPAN

協賛 前橋中央通り商店街振興組合 / 後援 公益財団法人 前橋市まちづくり公社

事務局 〒371-0024 群馬県前橋市表町1-8-8

信沢あつし&えりこ Atsushi:070-5468-8330 Eriko:080-1206-9318

HP: <http://volkswagen-japan.cocolog-nifty.com/blog>

e-mail: vw_web_news@infoseek.jp

Dec. 15 One Day VW Museum

12月15日 展示参加のご案内

ご自身のワーゲンを展示して、自慢しませんか!!

■展示参加費

イベント記念品(1,500円予定)を購入下さい。

■参加申込方法

一週間前までに事務局までメール、または電話で仮エントリーを行って下さい。

ホームページよりダウンロードしたエントリー用紙を記入し、展示参加費とともに、当日朝、受付時に事務局まで必ず提出してください。

※ダウンロード、プリントアウトができない場合、メールまたは電話で請求ください。郵送します。

※40台で締め切ります。

■当クラブへの入会について

会員にはメールまたは郵送にて会報を送っています。入会金1,000円、年会費3,000円。入会・更新用紙もホームページよりダウンロードできます。



前夜12月14日Cal-Nomi

前橋のイベント前夜に、軽い飲み会「Cal-Nomi」を行っています。前橋市街地の飲食店で夕飯を兼ねて軽く飲んで、重くワーゲンについて語り合います。地元オーナーは勿論、遠方から前泊される方、オーナーではないが、ワーゲンについて語りたい方、聞きたい方も大歓迎です。

会場予約の都合があります。11月23日までにメール、または電話にて申し込みください。



Our Club VW Events 2024

Apr. 7 KYOTO



May 26 Caluizawa



Jun. 9 KITAKATA

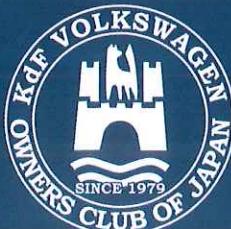


Jul. 28 OKAYAMA



2024年に開催した私たちのクラブのトレッフェンです。

KdF VOLKSWAGEN OWNERS CLUB OF JAPAN



事務局 〒371-0024 群馬県前橋市表町1-8-8

信沢あつし&えりこ Atsushi:070-5468-8330 Eriko:080-1206-9318

HP: <http://volkswagen-japan.cocolog-nifty.com/blog>

e-mail: vw_web_news@infoseek.jp

ONE DAY VOLKSWAGEN MUSEUM

フォルクスワーゲン プチ すかん



前橋中央通り商店街
いちにちワーゲン博物館
2024年12月15日



SUNDAY DEC. 15 2024



タイプ2
トランスポーター



タイプ14
カルマン・ギア



タイプ15
ビートル・カブリオレ



タイプ1
ビートル



KdF VOLKSWAGEN OWNERS CLUB OF JAPAN

事務局 〒371-0024 群馬県前橋市表町1-8-8 HP: <http://volkswagen-japan.cocolog-nifty.com/blog>
お問い合わせ: 070-5469-8239 E-mail: www-web-news@info.sakura.ne.jp



1953年「ヤナセ(日本)」で最初に売られたビートルの1台。リア・ウィンドーがオーバル



1957 Oval。ローダウンしてアクセサリーパーツ満載の一台。



1958 Square Window Ragtop。この年からリア・ウィンドーが四角になりました。



1960 Ragtop。ディズニー映画「ラブ・バグ」の主人公「ハービー」仕様



1963 Ragtop。ミントグリーンにオフホワイトウォールタイヤで爽やか。



1966 1300。ホイールにブレーキ冷却穴、扁平なホイールキャップに。



1967 1500。1500ccが追加。4穴ホイールのディスクブレーキ付き。



1967 1500。電装が12Vに。従来のドラムブレーキの5穴ホイールも。



1968 1500。助手席側のみヒンジドアは、このモデルイヤーの特徴。



1969 1500 Automatic。オートマチックは1968年に登場。



1969 1500。岡山で会った、とても奇麗なオリジナルを保った一台。



1970 1500。ヘッドレストが細身になり、後方視界が改善された年。



1970 1500。エンジンフードの2カ所に5本のスリットが追加される。



1975 1200LS。これは1973年までの姿に似せたカスタムカー。



1975 1200。この年から、ウインカーはバンパー内とドア手前に。



1975 1200。黒塗りバンパーなどスタンダードの姿を残す1台。



1976 1200LS。1973年と同様のデラックスボディに戻った年。

Super Beetle (Type 13)

1971年モデルで、フロントサスペンションがトーションバーから、ストラットに変わった1302が登場しました。1300ccで、1600ccは「S」が付いた1302Sでした。1973年にフロントウインダーが丸くなつた1303と1303S(タイプ13)となりましたが、1975年モデルで生産が終了しました。



1971 1302S。ゴルフなどと同じストラットと新型の1600ccエンジン。



1971 1302S。通常のビートルよりスポーティな「スーパービートル」。



1972 1302S。エンジンフードのスリットが2か所から4か所に。

VOLKSWAGEN Type1 ビートル

フォルクスワーゲンのビートルの設計は1934年にドイツのヒトラー総統と、ポルシェ博士により始まり、いくつかの試作を経て1938年に誕生しました。しかし、戦争が始まり、1945年の戦争後、イギリス軍のアイバン・ハースト少佐により工場が復興され、本格的生産が始まりました。当初はドイツ国内とイギリス向けでしたが1949年に正式に海外輸出が始まりました。最初はリアウインダーが二つに分かれた「スプリット・ウインダー」でしたが、1953年の輸出向けより、より見やすい楕円形の「オーバル・ウインダー」になりました。その後も、ビートルは安全面の改善が毎年繰り返され、世界各地でも生産されました。ドイツは1978年で生産が終了したものの、ブラジルやメキシコで生産され、2003年にメキシコで最後のビートルがラインオフ。約2,153万台が生産されました。日本には1952年末に3台のVWが輸入され、1953年からヤナセにより販売されました。2024年にイベント参加したビートルの写真で歴史を紹介します。1956年以降は「モデルイヤー」を採用し、夏休みに翌年モデル用に工場を更新し、秋からモデルチェンジとなるため、製造年ではなく、モデルイヤーを記載しています。



954 Oval。ドイツ製のニュージーランド向けに輸出された1台。



1954 Oval。アメリカの「hot VW誌」にレストアが連載されたVW。



1955 Oval。カラーコード「L313 Reed Green」でしょうか。深い色。



1956 Oval。1956年から1958年の「L351 Coral Red」は美しい。



1956 Oval Porsche 912 Engine。コレクション912のエンジンを積む。



1956 Oval。1990年頃にアメリカより輸入して、早35年ですか。



1956 Oval。私たちのクラブで4台目のコーラル・レッド。最近の人気色



1957 Oval Ragtop。転勤先のアメリカで買ってしまったラグトップ付き。



1963 Ragtop。ディズニーのハービーは1963年と云われています。



1965 1200。1960年頃からVWの車名は排気量になりました。



1965 1200。左と同じ右ハンドルのバハマブルー。貴重な正規輸入VW



1966 1300。1966年は日本の輸入車自由化の年。1300ccが追加。



1968 1500。この年から1300と1500専用ボディに。内装も豪華?



1969 1200。ヘッドライトが変わった程度のスタンダードは昔風の姿。



1969 1200。岡山の元校長先生は1200スタンダードを2台持ち。



1969 VW1500。1968年から全てに4穴ホイールが採用された。



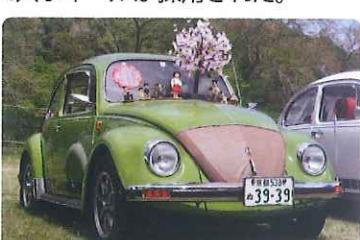
1972 1200。スタンダードは1967とほぼ変わらぬ姿で1973年まで。



1972 1300。1971年にエンジンが変わり、フードのスリットが4か所に。



1972 1300。1500は1970年で生産終了。このボディは1300のみに。



1975 1200LS。1974年から1200を中心に。1600ccは「1200LS」。



1977 1200LE。1976年よりインジェクションになり車名に「E」が付く。



1978 1200LE Glory。ドイツ最終生産限定車「グローリー・ビートル」



2002 Vocho。メキシコVW製ビートルは「ヴォーチョ」と呼ばれる。



2003 Vocho。メキシコVW最終年に製造された新しい一台も21年前!!



1973 1303。デュアルポートの1303は1500と同等の馬力になる。



1973 1303。1300ccの1303の日本への輸入は1年のみの稀少車。



1973 1303S。1974年からアメリカは5マイルバンパー(衝撃吸収)に。



1975 1303S。最終年はラックアンドピニオンのステアリングだった。

Type15 カブリオレ

タイプ1ビートルのオープンカー。カブリオレは1938年にビートルが誕生した時からありました。戦後間もなくはヘブミューラー社でも作られましたが、主にカルマン社が生産し、1979年にアメリカ向けのみを生産して終了しました。ビートルと比べると倍の価格で、高級でした。



1958 DX Microbus。沢山の人を載せるワンボックスのワゴン車。



1967 1500 Cabriolet。各年式のデラックスモデルをベースにした。



年式不明 KOMBI。コンビは、リアシートが畳める客貨両用の商用車。



1972 1302LS Cabriolet。1971年からスーパービートルをベースにした。



1963 Double Cab Pickup。アメリカではクルーキャブと呼ばれる。



1978 1303LE Cabriolet。ビートル同様にこの年が実質的に最後。



1964 DX Microbus。フロント窓はオプションのサファリウインドー。



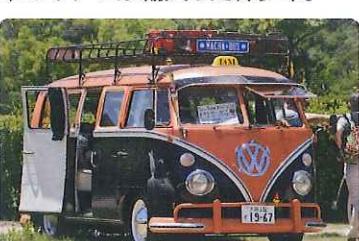
1978 1303LE Cabriolet。カブリオレは、剛性が高く良い走りだった。



1967 Single Cab Pickup。これは日本のヤナセが輸入した稀少車。



1978 1303LE Cabriolet。恐らくこの色が日本での最終限定車。



1967 DX Microbus。岡山で会った1台。かなりカスタムされる。

Type14 カルマン・ギア

1950年、タイプ1ビートルをベースに、イタリアのギア氏がデザインしたクーペボディを載せ、カルマン社で生産されたために「カルマン・ギア」の名前で、クーペとカブリオレがありました。また1969年にはタイプ3をベースにしたType34カルマン・ギアクーペも生産されました。



1959 KARMANN-Ghia Coupe。初期の小さな角型テールランプ。



1972 KARMANN-Ghia Coupe。1973年まで生産された。

Type2 トランスポーター

「ワーゲンバス」と呼ばれ親しまれていますが、「トランスポーターシリーズ」です。マイクロバス、コンビ、デリバリー・バン、トラックや、消防車、救急車、様々なバリエーションがカタログに載っていました。日本は1967年までは商用車のデリバリー・バンが主体でした。



年式不明 Single Cab Pickup。バスだけではなくトラックも。

Type3 タイプスリー

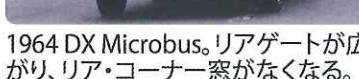
1960年に「1500」の名前でデビューしたセダンタイプのタイプ3。車幅は広いが、タイプ2同様に下回りは、ほぼビートル。間もなくステーションワゴンタイプのバリエーションを追加。1966年に「1600」になり、ファストバックの「1600TL」が追加され、1973年まで生産されました。



1969 1600E。「E」はインジェクション。日本はセダンが人気だった。



1966 1600 Variant。アメリカではバリエントが人気があった。



1964 DX Microbus。リアゲートが広がり、リア・コーナー窓がなくなる。



1966 1600 Variant。近年、日本でも人気でアメリカから輸入される。



1966 DX Microbus。デラックスはフロントからサイドへモールが付く。



1967 AMBULANCE。これはアメリカから輸入され近年レストアの1台。



1969 1600 Variant。タイプ1よりも車幅が広く、ゆったりとした車内。



1976 Delivery Van。1968年でこのタイプにモデルチェンジ。



1967 1600TL Fast Back。1966年モデルで登場。日本にも輸入された。



1972 KARMANN-Ghia Coupe。1973年まで生産された。



1969 Type34 KARMANN-Ghia Coupe。生産台数が少ない稀少車。